



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年9月30日

## CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 9/20-9/27)



|         | 週間    | 月間     | YTD    |
|---------|-------|--------|--------|
| VN指数    | 1.48% | 0.55%  | 14.25% |
| VN30指数  | 2.00% | 1.58%  | 19.54% |
| VN中型株指数 | 2.11% | 0.97%  | 12.20% |
| VN小型株指数 | 0.64% | -0.57% | 3.89%  |

先週のVN指数は1272.04ポイントが1290.92ポイントへと+1.48%の続伸となりました。ベトナム市場は一部の企業が堅調な8月の業績を発表したこと、外国人機関投資家に対するプレファンディング規制の緩和が決まったこと、ベトナム中央銀行が公開市場操作を通じた資金供給に動いたこと、中国政府が景気刺激策を打ち出したことなどを背景に、上昇基調となりました。

週末には1時1,300ポイントにタッチした後、利益確定の売りに押されましたが、週間では2週連続で上昇いたしました。

規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+2.00%と3週連続で上昇しました。また、中型株指数が+2.11%、小型株指数が+0.64%と、それぞれ上昇を続けております。

|                    | 週間    | 月間    | YTD   |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 為替レート<br>(ドン対円レート) | 1.79% | 1.58% | 1.20% |

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して横ばい圏で推移いたしました。一方、米景気のソフトランディング観測で米長期金利が上昇したことや、日銀の植田総裁が政策判断にあたり「時間的な余裕がある」と述べ、日銀の追加利上げ観測が後退したことを受けて、ドル高円安となりました。週間では、ベトナムドンは円に対して+1.79%と続伸しております。

| セクター  | 騰落率   | セクター  | 騰落率   |
|-------|-------|-------|-------|
| 金融    | 3.9%  | 素材    | 1.2%  |
| 不動産   | 1.0%  | 公益事業  | 1.0%  |
| 生活必需品 | -0.6% | エネルギー | -0.3% |
| 一般消費財 | -0.4% | 情報技術  | -0.9% |
| 資本財   | 0.6%  | ヘルスケア | 2.1%  |

セクター別に見ますと、6セクターが上昇いたしました。特に左上の金融が+3.9%、右下のヘルスケアが+2.1%と、それぞれ上昇を続けております。一方、右下から2番目の情報技術が-0.9%と反落いたしました。



| 銘柄名[ティッカー]         | 騰落率    | 銘柄名[ティッカー]            | 騰落率   |
|--------------------|--------|-----------------------|-------|
| TPバンク（金融）[TPB]     | +12.0% | ベトナム乳業（生活必需品）[VNM]    | ▲2.3% |
| サコムバンク（金融）[STB]    | +8.9%  | ベトナム石油総公社（エネルギー）[PLX] | ▲2.3% |
| サイゴンハノイ銀行（金融）[SHB] | +5.3%  | FPT（情報技術）[FPT]        | ▲0.8% |

大型株30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、中堅民間銀行のTPバンクが+12.0%と大きく反発いたしました。また、大手民間銀行サコムバンクが+8.9%、サイゴンハノイ銀行が+5.3%と、それぞれ続伸しております。

一方、下落銘柄はベトナム乳業が-2.3%と続落いたしました。また、ベトナム石油輸総公社が-2.3%、IT大手のFPTが-0.8%と、それぞれ反落しております。

### VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は2週連続で上昇いたしました。一部の企業が発表する8月の業績は概ね堅調であり、企業業績が回復基調を続けているとみられます。

一方、バリュエーション面では、足元の予想が10.7倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上